

三菱電機パッケージエアコン 別売部品

形名

<電動機プーリー>

PAC-CB30MP～PAC-CB41MP

<電動機セット>

PAC-CJ90MR～PAC-CJ98MR

PAC-CW38MR～PAC-CW47MR

<Vベルト>

PAC-CC47VBX2～PAC-CC49VBX2

静風圧部品取付説明書

もくじ


安全のために必ず守ること	2
1. 部品	4
2-1. 取付要領 (構造タイプ A の場合)	4
2-2. 取付要領 (構造タイプ B の場合)	5
2-3. 取付要領 (構造タイプ C の場合)	6
2-4. 取付要領 (構造タイプ D の場合)	6
2-5. 取付要領 (構造タイプ E の場合)	7
3. 電動機プーリー PC φ の調整方法	8
4. 注意事項	8

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- 「取付説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

 **警告**
電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- けが・感電・火災のおそれあり。



掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、関係するユニットすべての主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。



異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻き込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。



けが注意

運搬・取付作業をするときに

⚠ 注意

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- けがのおそれあり。



運搬禁止

取付作業をするときに

⚠ 警告

梱包材は破棄すること。

- 窒息事故のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付作業を行うこと。

- けが・感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

⚠ 警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事をする前に、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

移設・修理をするときに

⚠ 警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

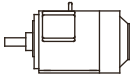
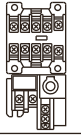




禁止

1. 部品

この箱には、この説明書のほかに表1に示す部品が入っていますので、箱外面に表示の部品形名、部品名と表1を照合のうえ、ご確認ください。

表1

部品形名	部品名	電動機		電磁開閉器		プーリー		ベルト		備考
			個数		個数		個数		個数	
PAC-CJ90MR	電動機セット	IK-FBKA21 1.5kW-4P	1	PAK-6JTHC (7.8A)	1					標準仕様変更銘板付 端子箱用ゴムブッシュ付(注3)
PAC-CJ91MR	//	IK-FBKA21 2.2kW-4P	1	PAK-6JTHC (11A)	1					//
PAC-CJ92MR	//	IK-FBKA21 3.7kW-4P	1	PAK-21JTHC (17.5A)	1					//
PAC-CJ93MR	//	IK-FBKA21 3.7kW-4P	1	PAK-21JTHC (17.5A)	1					//
PAC-CJ94MR	//	IK-FBKA21 3.7kW-4P	1	PAK-21JTHC (17.5A)	1					//
PAC-CJ95MR	//	IKK-FBKA21 5.5kW-4P	1	PAK-26JTHC (25.5A)	1					//
PAC-CJ96MR	//	IKK-FBKA21 5.5kW-4P	1	PAK-26JTHC (25.5A)	1					//
PAC-CJ97MR	//	IKK-FBKA21 5.5kW-4P	1	PAK-26JTHC (25.5A)	1					//
PAC-CJ98MR	//	IKK-FBKA21 7.5kW-4P	1	PAK-35JTHC (34.5A)	1					//
PAC-CW38MR	//	SF-PR 2.2kW-4P	1	PAK-6JTH (9.5A)	1					標準仕様変更銘板付
PAC-CW40MR	//	SF-PR 2.2kW-4P	1	PAK-6JTH (9.5A)	1					//
PAC-CW41MR	//	SF-PR 3.7kW-4P	1	PAK-21JTH (15A)	1					//
PAC-CW43MR	//	SF-PR 3.7kW-4P	1	PAK-21JTH (15A)	1					//
PAC-CW44MR	//	SF-PR 5.5kW-4P	1	PAK-26JTH (22.5A)	1					//
PAC-CW46MR	//	SF-PR 5.5kW-4P	1	PAK-26JTH (22.5A)	1					//
PAC-CW47MR	//	SF-PR 7.5kW-4P	1	PAK-35JTH (30A)	1					//
PAC-CB30MP	電動機プーリー					A可変-24	1			
PAC-CB31MP	//					A可変-28	1			
PAC-CB32MP	//					2B135-38	1			
PAC-CB33MP	//					2B150-38	1			
PAC-CB34MP	//					2B160-38	1			
PAC-CB35MP	//					2B170-38	1			
PAC-CB36MP	//					2B180-38	1			
PAC-CB37MP	//					2B190-38	1			
PAC-CB38MP	//					2B200-38	1			
PAC-CB39MP	//					2B212-38	1			
PAC-CB40MP	//					2B224-38	1			
PAC-CB41MP	//					2B118-28	1			
PAC-CC47VBX2	Vベルト							B53	2	
PAC-CC48VBX2	//							B54	2	
PAC-CC49VBX2	//							B55	2	

注1 プーリー仕様 $\frac{2B}{B}$ $\frac{150}{}$ - $\frac{38}{}$
B形ベルト2本掛 \swarrow \nwarrow 呼び径 \searrow ボス内径

注2 ベルト仕様 $\frac{B}{}$ $\frac{53}{}$
B形ベルト \swarrow \nwarrow ベルト長さ53インチ

注3 端子箱には付属のゴムブッシュを取付けください。

注4 取付完了後にシャフトとプーリーの未塗装部に防錆剤（推奨品：大日本塗料株式会社 COSMOREX#2000、日新インダストリー株式会社 スーパージंकもしくはローバル株式会社 エポローバル）を塗布してください。

2-1. 取付要領（構造タイプAの場合）

注、必ずユニットの電源をOFFにしてから作業してください。

- 1) 前パネル下、前パネル上（ネジ2本）送風機プーリーを交換するときは、左側サイドパネルのカバー大（ネジ8本）、電動機プーリー交換するときは、カバー小（ネジ6本）を取外してください。
- 2) 電動機・電動機プーリー・送風機プーリーおよびベルトを下記の内容に注意して交換してください。（図1）
- 3) 電動機の取付ボルトは2）項で取外したボルトを流用してください。
- 4) プーリーの止めネジは2）項で取外したネジを流用してください。
（締付トルク $13.5 \pm 1 \text{N}\cdot\text{m}$ ）
止めネジのはずれ防止のためネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。
（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）

注 室内ユニット標準電動機を使用する場合は、下記5）、6）項の作業は必要ありません。

- 5) 制御箱カバー（取付ネジ計3本）を取外し、制御箱内の電磁開閉器を交換してください。この際、リード線締付ネジにゆるみがないよう十分注意し、また制御箱カバーに貼りつけている配線図で配線を確認してください。（図2）
- 6) 電動機セットに付属している標準仕様変更銘板を定格銘板（ドレンパンまたは左側サイドパネル）の横に貼ってください。

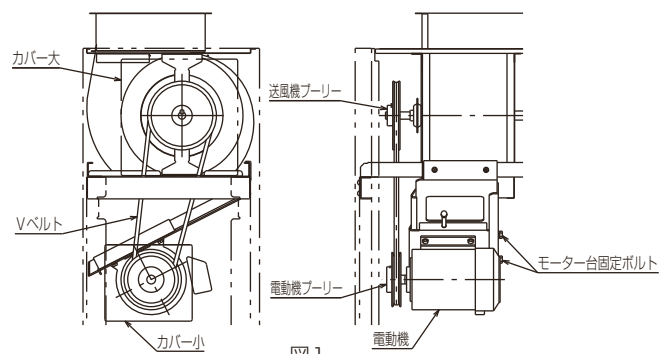


図1

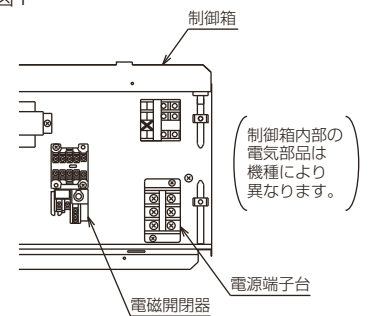


図2

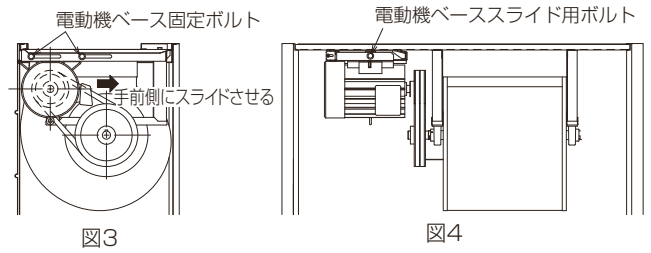
2-2. 取付要領（構造タイプBの場合）

電動機の配置が上か下かを確認し、下記の取付要領にて作業を行ってください。

電動機配置上

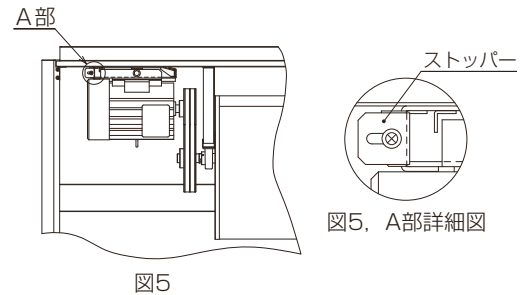
(1-1) 送風機プーリーおよび電動機プーリーの取付け

- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ②電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図3、4
- ③プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
- ④電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
- ⑤交換するプーリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は、8頁表3・図22の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
また、セットネジの外れ防止のため、ネジロック(現地手配)をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



(1-2) 電動機の取付け

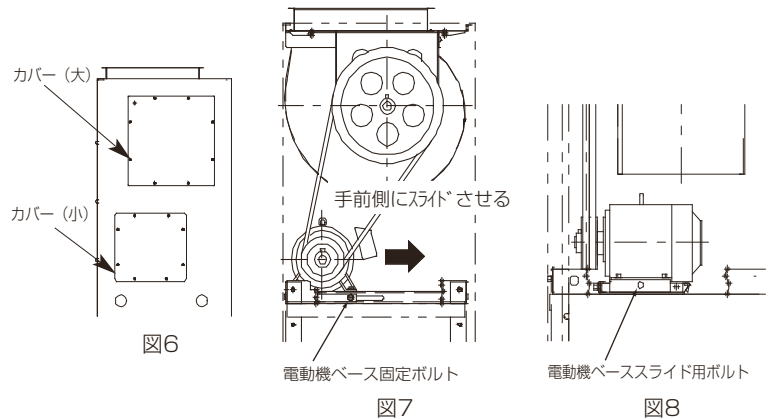
- 電動機を取外す際は、落下しないように必ず2人作業で行ってください。
- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
 - ②電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図3、4
 - ③プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
 - ④電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
 - ⑤電動機ベースストッパー固定ネジを緩め、図5のようにしてください。
※機種によっては、ストッパー位置が異なります。
 - ⑥電動機を取外してください。（ボルト4本）
 - ⑦電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
 - ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



電動機配置下

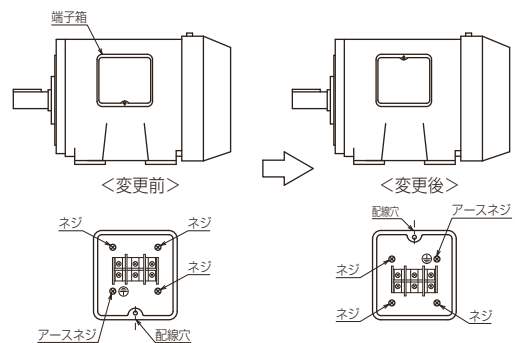
(2-1) 送風機プーリーおよび電動機プーリーの取付け

- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー大・小を取外してください。…図6
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図7、8
- ④プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーおよびVベルトを取外してください。
- ⑤交換するプーリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は、8頁表3・図22の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
またセットネジの外れ防止のため、ネジロック(現地手配)をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



(2-2) 電動機の取付け

- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー小を取外してください。（ネジ8本）…図6
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図7、8
- ④Vベルトを外して、電動機を取外してください。（ボルト4本）
- ⑤別売電動機を取付ける前に、図9に従い、モーター端子箱を回転させてください。
- ⑥別売電動機を標準品のボルト・ナットを流用して取付けてください。
- ⑦5.5kW-4PIは電動機上部の吊ボルトを取外してください。
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



モーターの端子箱カバーを外して端子箱取付ネジ（ネジアースネジ）を外し、端子箱裏側のバックキと共に180°回転させること。
※回転後ネジ止め時、各ネジの配置に注意すること。

図9

<p>電動機交換時は制御箱内の電磁開閉器を交換する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①制御箱のカバーを取外してください。…図10 ②制御箱内にある電磁開閉器を取外し、電動機に付属のものと交換してください。（取付ネジは標準品のネジを流用してください） この際、リード線締付ネジに緩みがないよう注意してください。 （主回路端子の締付トルク：PAK-6JTH…1.2~1.8N・m PAK-21JTH…1.2~1.8N・m PAK-26JTH…2.4~3.5N・m） （操作回路端子の締付トルク：0.8~1.2N・m） ③電動機に付属している標準仕様変更名板を定格名板の下に貼付けてください。 ④取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

制御箱カバー取付ネジ

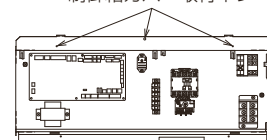


図10

2-3. 取付要領（構造タイプCの場合）

(1) 送風機ブリーセットおよび電動機ブリーセットの取付け

- ①前パネル下、前パネル上（ネジ2本）を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー大・小を取外してください。（ネジ8本×2）…図13
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図11、12
- ④ブリーのセットネジを緩めて送風機ブリーおよびVベルトを取外してください。
- ⑤交換するブリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥送風機ブリーと電動機ブリーの平行度は、8頁表3・図22の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
またセットネジのはずれ防止のためネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

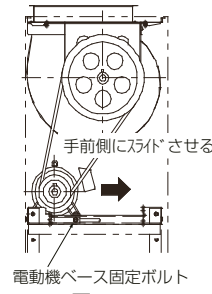


図11

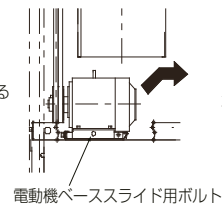


図12

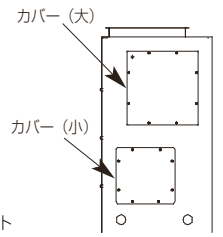


図13

(2) 電動機の取付け

- ①前パネル下、前パネル上（ネジ2本）を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー小を取外してください。（ネジ8本）…図13
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図11、12
- ④Vベルトを外して、電動機を取外してください。（ボルト4本）
- ⑤電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
- ⑥5.5kW-4Pは電動機上部の吊ボルトを取外してください。
- ⑦取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

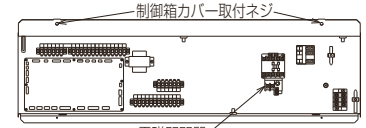


図14

電動機交換時には、制御箱内の電磁開閉器を交換する必要があります。

- ①制御箱のカバー（ネジ2本）を取外してください。…図14
- ②制御箱内にある電磁開閉器を取外し、電動機セットのものとの交換してください。（取付けネジは標準品のネジを流用してください）
この際、リード線締付けネジに緩みがないよう注意してください。
（主回路端子の締付トルク：PAK-6JTH…1.2~1.8N・m PAK-21JTH…1.2~1.8N・m
PAK-26JTH…2.4~3.5N・m）
（操作回路端子の締付トルク：0.8~1.2N・m）
- ③電動機セットに付属している標準仕様変更名板を定格名板の下に貼付けてください。
- ④取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

（制御箱内部の電気部品は機種により異なります。）

2-4. 取付要領（構造タイプDの場合）

(1) 電動機ブリーセットおよび送風機ブリーセットの取付け

- ①前パネル下、前パネル上（ネジ9本）を取外してください。
- ②電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を後方側にスライドさせてください。…図15
- ③ブリーのセットネジを緩めて送風機ブリーおよびVベルトを取外してください。
- ④交換するブリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑤電動機ブリーと送風機ブリーの平行度は、8頁表3・図22の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑥セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
またセットネジのはずれ防止のためネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑦取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

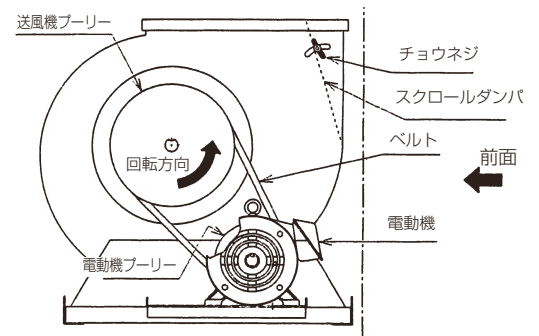


図15

(2) 電動機の取付け

- ①前パネル下、前パネル上（ネジ9本）を取外してください。
- ②電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を後方側にスライドさせてください。…図15
- ③Vベルトを外して、電動機を取外してください。（ボルト4本）
- ④電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
- ⑤取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

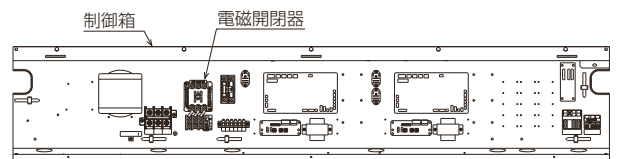


図16

（制御箱内の電気部品は機種により異なります。）

電動機交換時には、制御箱内の電磁開閉器を交換する必要があります。

- ①制御箱のカバー（ネジ2本）を取外してください。…図16
- ②制御箱内にある電磁開閉器を取外し、電動機セットのものとの交換してください。（取付けネジは標準品のネジを流用してください）
この際、リード線締付けネジに緩みがないよう注意してください。
（主回路端子の締付トルク：PAK-6JTH…1.2~1.8N・m PAK-21JTH…1.2~1.8N・m
PAK-26JTH…2.4~3.5N・m PAK-35JTH…2.4~3.5N・m）
（操作回路端子の締付トルク：0.8~1.2N・m）
- ③電動機セットに付属している標準仕様変更名板を定格名板の下に貼付けてください。
- ④取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

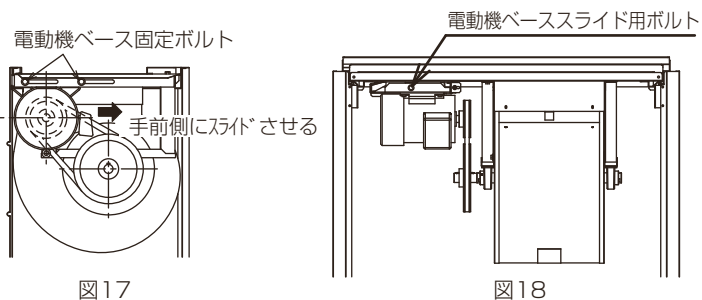
(3) スクロールダンパによる風量調節（必要に応じてスクロールダンパの調節を行ってください。）

- ①前パネル上（ネジ9本）を取外してください。
- ②ファンケーシング両側面のチョウネジをゆるめ必要な目盛りに合わせて固定してください。…図15
- ③調節目盛りについては当社発行技術資料の「静風圧部品選定表」をご覧ください。

2-5. 取付要領（構造タイプEの場合）

(1) 送風機プーリーおよび電動機プーリーの取付け

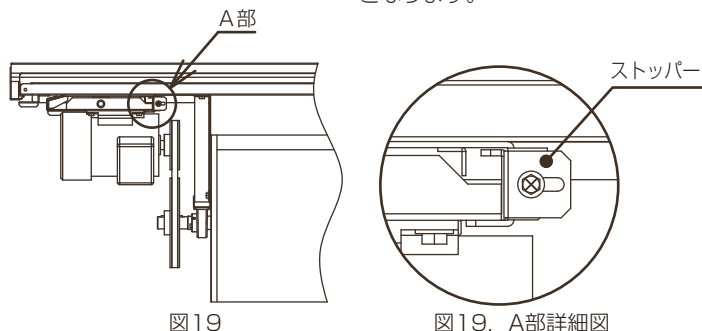
- ① 吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ② 電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図17、18
- ③ プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※ プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
- ④ 電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
- ⑤ 交換するプーリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥ 送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は、8頁表3・図22の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦ セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
また、セットネジの外れ防止のため、ネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。
（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑧ 取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



※ 上図はP280形
P560形は電動機1,ファン2の構成となります。

(2) 電動機の取付け

- 電動機を取外す際は、落下しないように必ず2人作業で行ってください。
- ① 吸込パネル、前パネル上を取外してください。
 - ② 電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図17、18
 - ③ プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※ プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
 - ④ 電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
 - ⑤ 電動機ベースストッパー固定ネジを緩め、図19のようにしてください。
※ 機種によっては、ストッパー位置が異なります。
 - ⑥ 電動機を取外してください。（ボルト4本）
 - ⑦ 電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
 - ⑧ 取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



電動機交換時には、制御箱内の電磁開閉器を交換する必要があります。

- ① 制御箱のカバー（ネジ4本）を取外してください。
- ② 制御箱内にある電磁開閉器を取外し、電動機セットのものに交換してください。
（取付けネジは標準品のネジを流用してください）
この際、リード線締付けネジに緩みがないよう注意してください。
（主回路端子の締付トルク：PAK-6JTH…1.2～1.8N・m）
（操作回路端子の締付トルク：0.8～1.2N・m）
- ③ 電動機セットに付属している標準仕様変更名板を定格名板の下に貼付けてください。
- ④ 取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

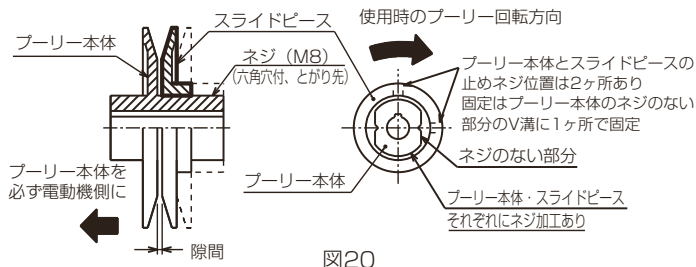
電気工事をする前に、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



3. 電動機プーリーPCφの調整方法

- 以下の式により電動機プーリーのPCφを求めます。
50Hz地域の場合 電動機プーリーPCφ = 送風機プーリーPCφ × (希望回転数 / 1450)
60Hz地域の場合 電動機プーリーPCφ = 送風機プーリーPCφ × (希望回転数 / 1750)
- プーリー本体とスライドピースを固定している止めネジをゆるめめます。
- スライドピースを左側にまわし、プーリー本体との隙間を0mmにしてください。
- 表2にて1) で求めた最も近いPCφにスライドピースのまわし回転数を合わせます。
- 止めネジによりプーリー本体とスライドピースを固定します。
(締付トルク : 13.5 ± 1 N・m)
止めネジはプーリー本体のネジのない部分のV溝に挿入して固定します。止めネジのはずれ防止のためネジロック (現地手配) をネジに塗布してください。
(ネジロック : ThreeBond 1322N相当品)
- 試運転を行いプーリーのゆるみなど問題のないことを確認してください。なお、試運転終了後にスライドピースの止めネジにゆるみがないことを確認してください。



- 注1. 希望回転数が送風機性能線図 (当社発行技術資料参照) の使用範囲内であることを確認してください。(使用範囲外では送風機の過電流継電器が作動します。)
- 注2. プーリー本体が必ず電動機側になるように使用してください。 (スライドピースを電動機側にして使用しないでください。) 図20参照
- 注3. 可変プーリーの調節の行った後は、必ず平行度 (芯出し) の調節を行ってください。
[可変プーリーはV溝の隙間が可変するため平行度 (芯出し) の調節は図21のように定規等を当てて左右の隙間が同じになるようにしてください。]
- 注4. 表2の隙間は参考値ですので、可変プーリーのPCφはスライドピースのまわし回転数であわせてください。

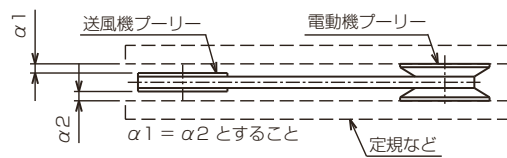


表2

スライドピースのまわし回転数	0	1/4	1/2	3/4	1	1・1/4	1・1/2	1・3/4	2	2・1/4	2・1/2	2・3/4	3	3・1/4	3・1/2	3・3/4	4	4・1/4	4・1/2	4・3/4
隙間 (mm) ……参考値	(0)	(0.4)	(0.8)	(1.1)	(1.5)	(1.9)	(2.3)	(2.6)	(3.0)	(3.4)	(3.8)	(4.1)	(4.5)	(4.9)	(5.3)	(5.6)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(7.1)
0.75kWモーター用可変プーリーPCφ	100.0	98.8	97.5	96.3	95.1	93.9	92.6	91.4	90.2	89.0	87.7	86.5	85.3	84.1	82.8	81.6	80.4	79.1	77.9	76.7
1.5kWモーター用可変プーリーPCφ	140.0	138.8	137.5	136.3	135.1	133.9	132.6	131.4	130.2	129.0	127.7	126.5	125.3	124.1	122.8	121.6	120.4	119.1	117.9	116.7
2.2kWモーター用可変プーリーPCφ	150.0	148.8	147.5	146.3	145.1	143.9	142.6	141.4	140.2	139.0	137.7	136.5	135.3	134.1	132.8	131.6	130.4	129.1	127.9	126.7

4. 注意事項

- 機種および電動機出力 (モーター出力) を確認し、表4より機種番号を選定してください。機種番号よりVベルトテンション表のたわみ荷重 (N/本) およびたわみ量 (mm) にてベルトの張りを調整してください。新しいベルトを使用する場合は、Vベルトテンション表のたわみ荷重 (N/本) 値の約1.15倍程度で表のたわみ量 (mm) となる様に張りを調整してください。
- 送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は、図22・表3の規格を満足するようにセットしてください。
- 平行度は、プーリーの側面に定規等を当てて確認してください。プーリーセットネジを締付ける際は、ネジ緩み防止のためにネジロック (ThreeBond 1322N相当品) を塗布し、13.5 N・mのトルクで締付けてください。
- ベルトがプーリーになじんだ後 (運転後24~28時間以後)
 - 項の適正張りに調整するようにしてください。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重 (W) の最大値の約1.15倍程度に調整するようにしてください。
- 4) 項の初期のび調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。[ベルトは初期のび (約1%) を含め、ベルト周長が2%のびた時点が寿命です。(運転時間で約5000時間)]

表3

プーリー	平行度 K (分)	備考
铸铁製プーリー	10以下	1m当り3mmのずれに相当

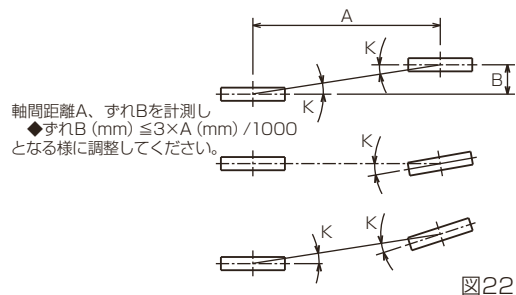
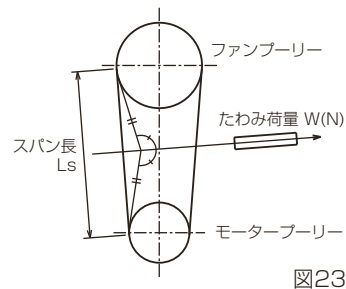


表4

■機種番号一覧

機種名	機種番号
PFAV-P140DM-E	(1)
PFAV-P224DM-E(1)	(2)
PFAV-P280DM-E(1)	(3)
PFAV-P450DM-E(1)	(4)
PFAV-P560DM-E(1)	(5)
PFAV-P670DM-E(1)	(8)
PFAV-P800DM-E(1)	(9)
PFAV-EP224DM-E	(2)
PFAV-EP280DM-E	(3)
PFAV-EP450DM-E	(6)
PFAV-EP560DM-E	(7)
PFAV-P1000DM-E(1)-F	(10)
PFT-P224DM-E(1)	(2)
PFT-P280DM-E(1)	(3)
PFT-P450DM-E(1)	(4)
PFT-P560DM-E(1)	(5)
PFT-P670DM-E(1)	(8)
PFT-P800DM-E(1)	(9)
PFAV-P280DM-WE1	(11)



■Vベルトテンション表

設備PAC【電源周波数50Hz】 たわみ荷重 [N/本]
【たわみ量 [mm]】

機種番号	50Hz	電動機 出力					構造タイプ	
		0.75kW	1.5kW	2.2kW	3.7kW	5.5kW		7.5kW
機種番号	(1)	8.5~10.5 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	12.5~14.0 [N/本] 【7.0 [mm]】					A
	(2)		12.0~14.0 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	16.5~18.0 [N/本] 【7.0 [mm]】				A
	(3)		12.5~14.5 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	16.5~18.5 [N/本] 【7.0 [mm]】				A
	(4)			18.5~24.0 [N/本] 【4.0 [mm]】	28.5~37.0 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】			B
	(5)				19.5~21.0 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】	23.5~28.5 [N/本] 【3.5 [mm]】		B
	(6)			12.0~13.0 [N/本] 【8.0 [mm]】	15.5~16.5 [N/本] 【7.5~8.0 [mm]】			C
	(7)				16.0~17.5 [N/本] 【7.5~8.0 [mm]】	20.5~22.5 [N/本] 【7.5 [mm]】		C
	(8)				14.5~19.5 [N/本] 【4.5~5.5 [mm]】	18.5~24.0 [N/本] 【5.0 [mm]】	23.5~25.5 [N/本] 【5.0 [mm]】	D
	(9)					18.5~27.0 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	23.5~28.5 [N/本] 【5.0 [mm]】	D
	(10)			10.5~13.5 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	14.5~15.0 [N/本] 【5.0 [mm]】			D
	(11)		12.5~16.5 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】	15.5~16.5 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】				E

設備PAC【電源周波数60Hz】 たわみ荷重 [N/本]
【たわみ量 [mm]】

機種番号	60Hz	電動機 出力					構造タイプ	
		0.75kW	1.5kW	2.2kW	3.7kW	5.5kW		7.5kW
機種番号	(1)	7.5~9.5 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	11.0~12.0 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】					A
	(2)		11.0~12.5 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	14.5~16.0 [N/本] 【7.0 [mm]】				A
	(3)		11.0~12.5 [N/本] 【6.5~7.0 [mm]】	14.5~16.0 [N/本] 【7.0 [mm]】				A
	(4)			21.5~27.0 [N/本] 【4.0 [mm]】	29.0~38.5 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】			B
	(5)				17.0~19.0 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】	21.5~25.0 [N/本] 【3.5 [mm]】		B
	(6)			11.0~11.5 [N/本] 【8.0 [mm]】	14.5~15.0 [N/本] 【7.5~8.0 [mm]】			C
	(7)				15.0~17.0 [N/本] 【7.5 [mm]】	19.5~21.0 [N/本] 【7.5 [mm]】		C
	(8)				15.0~18.5 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	18.5~23.5 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	22.5~25.5 [N/本] 【5.0 [mm]】	D
	(9)					18.5~25.0 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	22.5~25.5 [N/本] 【4.5~5.0 [mm]】	D
	(10)			11.0~12.5 [N/本] 【4.5~5.5 [mm]】	14.5~15.5 [N/本] 【5.0 [mm]】			D
	(11)		12.5~20.5 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】	15.0~15.5 [N/本] 【3.5~4.0 [mm]】				E

MEMO

MEMO

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニット付属の別紙）に記載の連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2022年3月作成

WT06360X04